



# 音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之  
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email [nichion@yomogi.or.jp](mailto:nichion@yomogi.or.jp)

## FMカンパニー(北海道支部)定期総会を開く



FMカンパニーは4月10日(日)北区屯田地区センターにおいて定期総会を開催した。参加者は8人。本来であれば3月5日を予定していたが、まん延防止期間で延期をしていた。  
一堂に集まるのは昨年11月13日の場さんの喜寿祝いに集まって以来5カ月ぶりとなった。  
コロナ禍でメーデーほか、歌祭や集会が中止となりうたごえの場がなくなつたが、インターネットを使つたりモニターや作曲の配信ができたことは、新しい表現を模索する1年であった。

ただ、昨年の総会で決定したFMカンパニーのCD作成は、収録曲は決定したもののコロナ禍で1年間録音作業ができなかった。  
9月の茨城祭典でのお披露目は、難しい状況にあると言わざるをえない。  
今年の北海道メーデーもリモート開催となり、発表の場はないが今まさに、反戦・平和を歌で訴えていくことが自分達の使命であるはずだ。今できることを少しずつやっていく事を確認して総会を終えた。  
(磯野宏之)

### CD録音作業を再開

総会終了後は予防対策を徹底し久しぶりにCD録音作業を再開した。  
全13曲のうちベースになる打ち込み音源を済ませたものから歌を収録することになるが、なんせ半年は歌っていないのでみな一様に声がでない。  
悪戦苦闘しながらなんとか一曲を仕上げる事ができたようだ。  
月に一曲のペースでの出来上がりで来年の音楽祭までには間に合うか。歌っているその時間が楽しいのでそれでよし。  
(磯野宏之)



再開したCD録音作業風景

### FMカンパニーの今までの音源総集編 FMCのおと完成!

1973年のはたらくものの音楽祭から全電通祭典、北海道祭典、道北うた祭、点々コンサート、レッドコンサートなどなど、日音協の50周年DVDからや残存するカセットテープ音源をデジタル化して総編集しました。

編集者は笠木博逸さん。2019年の年表「日音協の歩み On the road」に続いて、今度は音源をまとめ上げました。

あの時のあの歌を聴きながらの一杯は至福なのです。

全84コンサート収録。年表一覧冊子付。FMメンバーのみ配布で非売品。



### インターネット音楽会2022にUPしました

『祈り』  
詩・曲=沼前光典  
(FMカンパニー)

ご視聴は日音協HPから  
<http://nichionkyou.org>

私が出来ることは祈るしかないだろうか?  
争う人々が手と手を取り合うように

## たかが歌とされど歌⑥ 大沢隆男

## みんなが変わる力になる

「悲しくても腹は減るんだね」というあるTV番組の台詞を聞いて、「歌はうんこだー」という言葉を思い出した。この頃は「うんこ」のような状態ではないなあと思ってしまう。

歌つことが好きで、歌をつくることなど思いもよらなかつた私は、全電通コサ協の講習会を通じて「日音協」と出会った。「歌はうんこだー」というのもその頃のうろ覚えの言葉だ。「力ある歌を」「受け手から送り手へ」「私たちが表現主体に」「誰でもうたはつくれる」「自分とみんなの弁証法」「Rough Songs」などと洪水がごつごつの刺激的な言葉群と、先輩方が実際に歌をつくり歌っている姿を見て、「俺もつくっていいのかな」とその気になっていた。

それから「俺でもつくれる」「ことを信じてつくってぎた。つくれたことで喜びを感じてた。サークルに持ち込んで歌ってもらった。独りよがりであるとか、詩になっていないとか、ワンパターンなメロディーとか考えるのはずっと後のことだ。

一九八二年、長野市の隣市の須坂市職青婦部結成一〇周年



記念行事の一環として、構成作品をつくりたいので、かかわって欲しいという依頼があった。その初会合の席には、構成詩に描きたい職場、給食センターの役員と須坂市職青婦部役員が集まった。その時、最初に職場の様子を描かれ、最後の方ではこの実態は許せない!がんばるぞ!という内容の台本が既に書かれてあった。台本はある役員が頑張って書いたという。

一〇周年記念集会まで時間がないし、練習もあるからこの台本で歌をつくって欲しいという中身だった。

気の毒とは思ったが、この台本は一旦棚上げにして、本当の気持ちを描こう、時間ギリギリ

まで討論をしようと提案。給食センターの職場の様子を聞き直し、討論となった。一日八〇〇食を作り、ケガ、火傷、切り傷は当たり前、人が少ない上にケガで入院した人の代替えさえ入らない職場だった。年配の人達と青婦部のように若い人達の働き方に違いがあり、又お互いが相手の働き方に「おもしろくない」という気分を強く持っていることがだんだん分かってきた。許せない、がんばるぞ!という気持ちとは随分離れたものだった。

精力的に会合を重ねる内に、更に欠員が出たのの後補充がない状態になり、こんなのはたまらないと、所長交渉をしようという話になっていった。所長交渉は組織始まって以来初めての出来事だった。動きが出て来た。

小さな闘いが起こった。これで作品にできるなと思ったが、事はそれ以上に進み、お互いの働き方の違いからくる年配と若い人達の確執のようなもの原因も見えてきて、みんなが互いに「苦しいのは一緒だった」という気持ちに変わって行ったのだ。仕事があつたから、年配の人はその年齢に合わせた働き方をしているし、若い人は若い人なりの働き方になっていたという事、お互いの気持ちで理解され、怖さもあつたが、全員の所長交渉へと発展し

た。

この事態は発表直前だったが、共同で一気に書き上げ、演じ手の気持ちに近づけることができた作品になった。

「みんなが変わる力になる」はその経緯をへて出来た歌だった。つくるといふよりも事実・動きに突き動かされてできた歌だった。

初演した記念集会上でのこの曲は現在のものと少し違う。窪田氏のアドバイスもあつて手直しをした。須坂市職の仲間からは叱られもしたが、彼らは自治労全国交流会に持ち込んで発表もした。

この経験は私にとって創作上のひとつの転機になったように思う。頭だけで考えずに事実をきちんと見ることや、みんなと自分との関係を意識するようになった。それまでの作品は独りよがりの作品だったと反省もした。

私の創作はゆっくりしている。中々出来ないと言った方が当たっている。それでも一年に一作品だけはつくろうと自分に課してきた。一つの作品ができあがる度に、まだ本当のところがないと反省を繰り返すばかりだ。

日音協の柱はこの『つくる』ことにあると思っている。「労働・闘い・生活を表現する。24時間丸ごとを表現する。意味のない手紙は書くまい」。言葉と

としては数々言われて来たが、これがあってこそ日音協だと強く思う。

「創作」は特殊な能力のある人達に任せて。私にはとても出来ない。という意見がある。私自身もそう思っていた時期もあった。いくらつくっても広まらない、駄作になっているという所から来る意見もある。しかしながら、表現主体が変わる、受け手から送り手へという変化(つくり手自身の変化は当然含む)こそ日音協が日音協運動たることだと思ふ。表現するこはある種の苦痛を伴う。楽譜が書けない、詩が書けないにはじまって、書くものが見つからない、自分自身がみんなのなかにさらけ出されるからという思いもある。広まらないから、売れないから良くない作品という世間の常識にぶつかるともある。創作活動が弱まって来たのは、創作者側の責任も大きいと思ふ。

闘いが少なくなつて描きにくくなったことも創作しづらい条件のひとつかもしれない。動きが見えないから「歌」になりにくい。あることに遠慮して言いたいことを自己規制するというのは問題外だが。

が、ちょっとまで、「歌」になりやすいものとはいったいならんだろうか。闘いがあつたから

# 2022 中央メーデー 3年ぶりの代々木公園



4月29日(金・祝)、連合の中央メーデー大会が3年ぶりに開催された。

感染対策のため、メーデー合唱団とスウィングセピアの演奏は中止となったが、代わりに依頼された『晴れた五月』と『連合歌』の録音が開会直前まで会場全体に流れ、開会前の主催者挨拶では、録音を寄せた日音協に感謝の言葉が述べられた。

そして開会式では、スウィングセピアによるファンファーレの録音が、降り始めた霧雨を吹き飛ばすかのように代々木公園の会場全体に響き渡った。(坂口美日)



メイウィンズ

4800人が集まった第93回メーデー中央大会。天気予報では午後から雨。しかし早々に霧雨が降り始めた。日音協のテント前コンサートも、雨をよけてテントの中に歌うスペースを作った。いつも音響を担ってくれた岩野さんが北海道へ戻ったので、メンバーで機材を持ち寄り、セッティングも、わいわいとみんなで準備した。

中央式典終了と同時にメイウィンズが歌い始める。男声3部合唱。今回のメーデーは感染防止のため会場内に飲酒・食事の場はなく、キッチンカーやドリンク販売もない。例年ならば中央式典終了後も、参加者はゆっくりと会場内をまわるのだが、天候もあって帰路を急ぐ人が多い。そのなかでも、うたごえに惹かれ、目を向け、足をとめる人たちも現れる。

続いてういみん。母娘連れだろうか、曲に合わせて踊るように体を揺らして聴いている。観客があるって嬉しい。歌う側も笑顔になれる。



ういみん



都支部の参加者

最後はみんなでシングアウト。4曲を歌った。雨もしっかり降ってきて、まわりのテントは撤収を始めている。短時間の企画だったが、悪天候の中コンサートは無事終了した。

(森理子)

つくりやすかった、で今は？  
闘いというのはストライキや  
デモだったのか。24時間まるごと  
を描くと言いながら、ちっと  
もまることではないなあと思  
うのである。ひよっとすると闘  
いらしき歌をつくってきたが、  
あれは借り物で自分のもので  
なかったなあと思ったりもす  
る。いったい俺は何だ。みんな  
との関係はどうなっているの  
か。どういふ状況なんだ今は。  
どうしてこうなっているのか。

(2面から続く)

などというところへ考えが向  
かって行く。  
創作するという行為を通し  
て、そんなことまで考えさせて  
くれる日音協活動に感謝して  
いる。「作品を、演奏を、意見を、  
経験をもちより、ぶつけあい、  
吸収しあえる場をつくりあげ  
る」(とばせ歌を「七一年一  
月号の前書きより)は、今も有  
効な提起だと思ふ。日音協を担  
うみんなが表現主体になって  
いくことを今一度見直してみ  
る、音楽祭以外にもそんな場が  
大切ではないかと考えている。

2022年5.3憲法集会

### ケサラ 2022憲法集会によせて

日本語詞/にしむらよしあき  
編詞/川口真由美  
作曲/C.ヘス

めち どうた から めち どうた からー わた したちあき らめ ないよ へい

わと じゆうと こども たちのーた めに きょう も いきて ゆく よ

おさ え きれない かり こら え きれない か なしみ そん き はらした よる わかえる あさの ま ぶしき なみ

な この くりかえしー だけど けつして まけは しな い さ ケ サ だの かわく とき は ないーけど けつして たおれは しな い

ラ ケ サ ラ ケ サ ラ ほく たち の じ ん せ い は へい

わと じゆう も と めて いきて ゆけば いい の さ な

ケ サ ラ ケ サ ラ ケ サ ラ ほく たち の じ ん

せ い は へい わと じゆう も と めて いきて ゆけば いい の

さ いつ も おもいだ すの は へい わの た めに み く たかく おおき く あしたに むかっ て ちか

を ささげ た なも ない おおくの と もー たちを けつ して わずれは しな い づよく にん げんの やさしさを うた えー うたえ うた

さ ケ サ ラ ケ サ ラ ケ サ ラ ケ サ ラ ほく たち の じ ん

せ い は へい わと じゆう も と めて いきて ゆけば いい の さ ひろ

え うたえ うた え うた え うた え うた え うた え にん

# 戦争はやめろ!

# 平和憲法を守れ!

## 改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし 2022 憲法大集会への参加要請について

昨年の衆議院議員総選挙以後、今年2月、3月だけで衆議院で7回、参議院で1回の憲法審査会が開催され、一部の政治家は今年7月の参議院議員選挙を焦点に一気に憲法改正(改悪)に突き進もうとしており、緊迫した情勢にあります。ロシアのウクライナ軍事侵攻は断じて許すことができませんが、この期に憲法9条を死文化しようとする動きもあります。こうした中で、「改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし」を多くの国民に訴え、改憲発議を許さない世論、万万が一発議されたとしても国民投票で圧倒的に否定される世論をつくりあげていかなければなりません。

5月3日の憲法集会は2年続けて規模縮小を余儀なくされましたが、今年は東京都江東区の有明防災公園(東京臨海広域防災公園)に多くの参加者を得て成功させたいと、平和といのちと人権を！5.3 憲法集会実行委員会 は意気込んでいます。日音協は、この間の取り組みを踏まえ、日本のうたごえ全国協議会(東京のうたごえ協議会)や(株)音楽センターとともに、集会のメインステージで参加型合唱に取り組むとともに、サブステージ【Human Music ライブ】を開催して集会の成功に貢献したいと考えています。(メール配信でない読者の手許に届く頃には終了していますが、ご容赦願います。)

5面に「Human music ライブ」のチラシを掲載しましたが、川口真由美さんと合唱する「ケサラ」の楽譜を紹介しします。

(日音協会長・松本敏之)

げんの やさしさをうた え うたえ あしたに むかっ て ちから づよく ひろ

You may say I'm a dreamer

く たかく おおき く めち どうた から めち どうた からー わた

But I'm not then! you see I hope some-day you'll

し たちあき らめ ないよ へい わと じゆうと こども

join us And the world will be as one

たち のーた めにきょう も いきて ゆく よー ケ サ

ウィーシャル オーバーカム Oh ティブ イン マイ ハート

ラ ケ サ ラ ケ サ ラ ほく たち の じ ん せ い は へい

アイ ドゥ ビ リーブ Esus4 ウィーシャル オーバーカム Em

わと じゆう も と めて いきて ゆけ ば

いい の さ Ah

# JMC WEB CONCERT

DAY&TIME 2022.4.24 14:00 OPENING

JAPAN MUSICAL COUNCIL NORTH TOHOKU BLOCK NETWORK

## 東北北 WEB コンサート

### プログラム

1. 下総 大さん  
死んだ男の残したものは  
はるかな旅
2. 新毛郁子さん  
さとうきび畑  
君を忘れない
3. ミニオンズ (佐々木かな子さん&佐藤幸子さん)  
星とたんぽぽ  
大きな橋
4. 甲屋文史さん  
おやすみをもう一度  
夕日の部屋
5. 小笠原早苗さん  
昔っことり
6. Let & Blue (小笠原早苗さん&新毛郁子さん)  
花
7. 岩手県支部 (久慈メンバー)  
ミール・イ・デュリュージュバ
8. **NOZOMI With Shoji Mitachi**  
雨の匂いに誘われて
9. 大嶋忠男さん  
泣く子はいねが!  
お茶っことサロンのテーマ
10. **The River Side Glass**  
大地のメロディー  
線引きやっこ
11. 高橋 円さん  
流れ星の正体  
そのときには

4月24日午後2時から、予定通り WebConcert が開催されました。  
出演者は全11組、視聴の方も10名近く来て(入室)いただきました。  
Zoomでのオンラインだけに、映像・音響共に満足いくものとはなりませんでしたが、本当にしばらくぶりに顔を見ることが出来、やって良かったと思います。  
今後オンラインでのコンサートは継続する可能性があるので、課題を明確にし、解決していけたらと考えます。  
出た方、見た方、ご意見を書き込んで頂けたら嬉しいです。

秋田県支部ホームページ「秋田おんがく広場」より

開催報告の中で、映像・音響が満足出来なかったと書きましたが、出演した方の演奏や歌は良かったですよ。  
新曲を披露した方、新しい楽器に取り組んでいた方、生演奏でなく、あらかじめ撮った動画を様々な工夫を凝らして流した方など、オンラインコンサートも少しずつ良くなっているなあと思いました。  
【自分で演奏して感じた事】  
・表示をスピーカーにしたが、自分が映らず音が出てないのかと焦った。  
・映像がどんな風に映されているか。フリーズしたりしてないか、気になった。  
・自分のギターの音や声が割れたりしてないか、音量のバランスは良いか不安だった。などです。

他の方の演奏を聴いて感じたのは、大嶋さんのマイクが歌を良く拾ってギターとのバランスも良かったので、自分もやってみよう。  
リバーサイドと円さんが作って流した動画の出来が良かったので、あんな風にMV(ミュージックビデオ)を作りたいなあと思いました。  
(下総大・秋田県支部事務局長)

※コンサートは全て録画しております。編集して、日音協HPにUPする予定ですが、取り出すのに難儀して今月号に静止画での報告はできませんでした。来月号でも報告したいと思います。  
それにしても、こじやれたプログラムですね。秋田で行っているそうです。  
Japan Musical Council (JMC):日本の音楽の協議会みたいな意味のようです。  
編集部・佐藤

2022年5月3日に東京有明の防災公園にて5・3憲法集会が開催され、サブステージを担当しています。  
日音協からは、VJkin、Rico&Tatsu が出演します。近県の方は是非足を足をおはこびください! 感染状況が心配な方は、当日のライブ配信をお楽しみください! (坂口)



ライブステージ 11:00~12:30

## Human music ライブ

当日 YouTube よりライブ配信予定。  
以下 URL 又は QR コードからご視聴ください。  
事前予約も可。

<https://www.youtube.com/watch?v=Hj8Wi4sI6M>



出演者  
いなのとまゆ  
ジョニーH  
マアルハート  
VJkin  
Rico & Tatsu  
いくたまんじ

# 5・3憲法集会

